

第27回
赤とんぼ
意見広告

今年も飛びます！ 青空へ



No.187号
2009年5月26日
発行人 宮崎 優子
事務局 日高 礼子
☎ 097-545-3134
FAX 097-545-3134

鶴見紘ひろみの書いた「白洲次郎の日本国憲法」の中にこんなことが書かれています。

「日本は敗けた、だが日本人は奴隷になつたわけじゃない。」とGHQに反発した一方で「朕戦いを宣す」の終わりを上げずして国際社会に信頼を回復することはできない」として、白洲次郎は天皇の退位を求めていた。

戦争の責任を明確にし、謝罪し身を退く―それが次郎の原則「筋を通す」ことであつた。白洲語録にはまだある。「議論したければ議論すればいいんだ、ところが痛烈なことを言うとう恨むんだね、人の前で恥をかかしたって。メンツ面子って言うけど、8月15日以来日本人に面子なんてあるかって言うんだ。」

さらに「残念ながら日本人の日常は、プリンシプル（原則）不在の言動の連続であるように思う」と言い切っている。
なるほどと思う。

意見広告費 & 会費について

意見広告費は任意です。
会費は今年度より1口千円になりました

日本政府にもプリンシプル原則がないのだ。と思ひ当たることが多い。

これがほんとうに憲法9条の国なのかと首をかしげる……いや体中が怒りで震えることがあります。田母神俊雄元航空幕僚長の件もそうです。「我が国が侵略国家というのは、濡れ衣だ」と公言して悍らぬ人物を防衛省のトップ3に置いていたことになる。

原子力空母ジョージ・ワシントンが横須賀に配備されたこともそうです。「横須賀港に原子炉の存在」は安全なのか、認められるのか？

北朝鮮の人工衛星うんぬんの時も……迎撃ミサイルパトリオット、イージス艦配備のMC3についても国会でいつ議論したのだろう？ 国の基本は憲法で決められる、それが原則です。
民主党の代表が鳩山由紀夫氏に

意見広告までの日程

- 6月28日(日) (13:00~ ライフバル) 第1回デザイン会議
- 7月4日(出) (13:00~ みんなの家) 第2回デザイン会議&第1次集約
- 7月18日(出) (13:00~ みんなの家) 第3回デザイン会議&第2次集約
- 7月31日(火) 〆 切
- 8月随時 校正作業
- 8月15日(水) 意見広告掲載

なりました。
日本のかじ取りを原則に則つてやれる人物なのか？ (ゆづ)

私たちは
子どもたちの
未来に責任がある。

8.15
新聞意見広告

デザイン画 & キャッチコピー

募集します！
6月27日(〆切)までに事務局にFAXまたは郵送をお願いします。

お便り紹介



私共のつれづれなる思い

…人類が頭脳を使っていろいろ便利なものを発明して来ましたが、そのことによって、多くの犠牲者が出たことを忘れてはなりません。空飛び鳥のように飛びたいと願った結果、この稿を整理する間にも1月16日、バードストライクなるものによって奇跡的な事故の報道が世界を駆け巡りました。自由に空を飛び鳥を犠牲にした今回の事故は人類に与えられた神様からの警告ではないかとも思っています。

この辺りで文明を少し後戻りした生活が出来るようなことを考えてもよいのではないのでしょうか。

宇宙開発は決して生きとし、生けるものや、人類のためになるものではないと思います。

地球の大気圏には、これまでの開発のために打ち上げられた物体がゴミの如く漂っていると報じられたこともあり、まさに地球は窒息状態にまでなりつつあるのではないかとも思っています。

宇宙旅行を夢見る人達が多大な財源を使う分、地球上の多くの問題のために廻して解決することを提唱します。

又、1月14日には沖縄・糸満市で戦時中の不発弾の爆発事故の報道があり、まだ3,000個程の爆弾が地下に残り、それを片付けるのには80年もかかるとのことでした。沖縄の方達の心を思うとき、本当に戦後は終わった等の言葉を使うわけにはいかない気がします。

昨年2月19日、千葉県で発生した海上自衛艦と漁船の事故による判決では1月22日、ようやく海自側の体質が批判されましたが、常に思っていたことはあの巨大な鉄の塊である物体が人身を守ることなど出来ないと言ったことでした。空を爆音をあげて飛びかう戦闘機、海に潜って、自分自身を守ろうと考える潜水艦でさえ、自然の力には勝てず、あの大戦の際には多くの若い訓練生の命が失われたと聞きますし、そう言った物体も今だに近海に出没し、大切な仕事をしている漁船を脅かしているのです。

昨年鹿児島島の錦江湾で、桜島に渡る途中、潜水艦を実際に目にし、何とも言い難い気持ちでシャッターを切ったのですが、今年1月10

日、漁船と接触事故がある等、危惧することばかりです。

日本の国は憲法9条によって不戦の誓いをしたのであれば、軍と化した程の機器の存在は全くもって間違いです。この時に及んで、軍需産業まがいの財源一際を普通に働く人々に廻せば解決することではないのでしょうか。

…アメリカに新大統領が誕生しました。世界中から注目され、期待をもって迎えられた、バラク・オバマ氏の政策が軍事的なものではなく、自然な生活が出来る国作りを目指すものとなるよう願うところ

るです。

日本の国からは憲法9条の理念を伝えて行けば立派な国際貢献になるのではないかと思います。

国会で無駄に論じ合っている政治家の皆さん、どうぞ、63年前程の原点に返って、地球上で安心して、豊かな生活が出来ますように、と願った憲法通りの政策を行って下さい。

以上、諸問題、解決する日が訪れるものと信じて私共も希望を持って残りの人生を過ごして生きていと思っています。

(福岡市 末松俊哉・陽子)

赤とんぼの会 2008年度会費会計報告

収入

項目	金額	備考
前年度繰越金	336,706	
会費	147,000	70名
カンパ等	23,000	9条の本・カンパ
預金利息	305	
合計	507,011	

支出

項目	金額	備考
印刷費	85,680	機関誌183号～186号
通信費	67,950	機関誌発送費用他
家賃	24,000	2008/5・2008/10～2009/4
事務費	2,898	封筒代・インク代他
会議費	1,820	コンパル使用料
旅費	48,200	市民運動全国交流会
意見広	10,000	市民意見広告運動
その他	16,205	山田泉さんへ電と献花
合計	256,753	

収入 507,011 支出 256,753 次年度繰越金 250,258

日本国憲法は未来への足場

侵略と荒廃、「核の冬」防ぐモデル

詩人アーサー・ビナードさんに聞く

（今年5月4日付大分合同新聞朝刊より転載）
御本人及び共同通信社の了解済

米国生まれの詩人アーサー・ビナードさんは、一九九〇年に来日し、日本語でも作品を書き始めた。戦争と平和をめぐって、驚いたものが二つあるという。

米国生まれの詩人アーサー・ビナードさんは、一九九〇年に来日し、日本語でも作品を書き始めた。戦争と平和をめぐって、驚いたものが二つあるという。

件はほとんど紹介されな
い。アメリカ人が日本に
来て初めて知る自国の歴
史です」とビナードさん。
この説明に疑問も持っ
たという。「第五福竜丸
は、軍事機密に遭遇して
しまったので、米軍に狙
われて撃沈されるはずで
す。ところが、生還した。
一体どうやって日本に帰
れたのか」

もう一つの驚きは一九
九〇年、湾岸戦争を前に
した議論で、「日本国憲
法」が焦点となったこと
だった。武力行使を伴う
多国籍軍への自衛隊の参
加は「憲法上許されない」とされ、ストップがかか
った。「アメリカの憲法
は、ただの飾り物と化し
てしまった」と思ってい
たビナードさんには、新
鮮だったという。

「オバマ政権の力だけで、
国防総省に切り込み、予
算を削減することはでき
ない。実現するためには、
オバマの背中を市民が押
すしかない」
そしてこう話す。「日
本国憲法をつくった人た
ちは先見の明があった。
今まで大胆すぎるくらい
新しかった日本国憲法が
生かせる時代を、これか
ら迎えます。戦争が廃れ
る未来への素晴らしい足
場になると思います」

の宣戦布告は第二次大戦
中。ベトナム戦争でも、
イラク戦争でも行われて
いない。議会による武力
行使容認決議で十分とい
う見解がとられているた
めだ。

「アメリカの憲法は、
現実に力を発揮できない
ミイラにされて久しい。
憲法ってそんなものだ
と
思っていたので、戦争の
放棄を規定した日本国憲
法が実際に働いているこ
とに驚嘆した」と語る。
米国は第二次大戦後も
戦争を繰り返してきた。
「軍隊と戦争がなければ
米国経済は回らない。
だから戦争はなくなるな
ら
ない」という人もいるが、
その先には、侵略と荒廃
の思いつほです」

合衆国憲法は、宣戦布
告の権限は連邦議会にあ
ると定めているが、最後
回すモデルを切り替える

「オバマ政権の力だけで、
国防総省に切り込み、予
算を削減することはでき
ない。実現するためには、
オバマの背中を市民が押
すしかない」
そしてこう話す。「日
本国憲法をつくった人た
ちは先見の明があった。
今まで大胆すぎるくらい
新しかった日本国憲法が
生かせる時代を、これか
ら迎えます。戦争が廃れ
る未来への素晴らしい足
場になると思います」

無線長は英雄

一つは、東京案内の英語ガイドブックを読んで存在を知った「第五福竜丸」という船。「一九五四年三月一日、太平洋のビキニ環礁で米国防総省が水爆実験。公海で操業していた静岡県焼津港を母港とする遠洋マグロ漁船『第五福竜丸』の乗組員二十三人が被曝し十三日後、焼津に帰港。無線長の久保山愛吉さんが同年九月二十三日に死亡した」とこの船にまつわる事実は説明される。

「アメリカではこの事
久保山さんらは「死の
の思いつほです」

「ミイラ憲法」

もう一つの驚きは一九九〇年、湾岸戦争を前にした議論で、「日本国憲法」が焦点となったことだった。武力行使を伴う多国籍軍への自衛隊の参加は「憲法上許されない」とされ、ストップがかかった。「アメリカの憲法は、ただの飾り物と化してしまっ

「核の冬」

「核の冬」と呼ばれる最悪の結末しかない。軍に依存して経済を回すモデルを切り替える

10月18日(日)

アーサー・ビナードさんの講演会をします
詳細は次号で!

でんでん虫のねじり



青の季節になりました。さて、テポドンだかてんでんだか、とに角、訳のわからない人工衛星のような核爆弾のような、このミサイルさわぎを書かねば…と考えている時、大阪の石橋さんからの家族新聞が届き、「ハヤオ」の頁に出会いました。これだ!!とカニンングを決めこんだわけです。うす気味の悪い怖しさを、彼は素直に表現してくれました。

「僕は怖いのだ」

はやお(中一・13才)

フト、「日本という国はどえらい国の隣にあるのだと改めて思った。その国というのは北朝鮮である。以前、広島島の原爆ドームを見に行った時、核兵器のあまりの恐ろしさに絶句した。こんな爆弾が世の中に何千個もあると思うと怖くてしかたがなかった。広島では20万人が亡くなっている。この悲劇の時から人間は、その存在(核)を抹殺しなければならなかったのに、今なおどんどん量産され、事もあろうにそれを発射しようというのだ。その事が怖いというのももちろんだが、もつと怖いのはいとも

簡単にそれを指示出来る人間がいることが怖いのだ。この一発の爆弾でどれだけの命が亡くなるのか、そしてそこから始まるであろう戦争によって、どれだけ多くの人が悲しみ、憎しみを味わうか考えることなく平気で発射のボタンを押すことの出来る人間がいるということがものすごく怖いのだ。北朝鮮は人工衛星を打ち上げたといっている。僕は本当にそうであるか? 信じた。しかし落ちて来た場合迎撃したら日本と戦争すると言っている。その言葉本気ののだろうか? 本気だとしたらとても正気の沙汰ではない。今までは或程度秩序があった。しかし今その秩序はいとも簡単に破られようとしている。「最近平和だな」と思っている人は、その平和がお互いに兵器を向け合って出来ている平和だと気付いてほしい。日本には防衛のためと言って立派な自衛隊という軍隊を持っているが、それは果して本当の平和だろうか? 本当の平和は何時訪れるのだろうか? 世界中どこにも戦争がなくなる時が来てほしいと願っている。

朝・昼の温度差がはげしくて体調をくずし易いこの頃です。どうぞ大切に、お過ごし下さい。手洗い・うがいは丁寧に。(み)

平和のための戦争展



講演「マンガで訴える世界平和」

とき 7月11日(土) 14:00~
ところ 大分文化会館 第1小ホール
講師 西山 進さん(マンガ家)
<連絡先>097-541-2201(長野)

「きたがわてつコンサート」

とき 7月12日(日) 18:30開演
ところ 大分市コンパルホール
3階多目的ホール
<連絡先>090-9790-9042(山崎)

名もなきひとむれ歩きます

8月15日(土)13:30 大分駅噴水前

待望の雨にホッとひと息でも、来月の今頃は、もう雨はたんさん!と思っているんだろ? なんで身勝手な!! (は)

アレン・ネルソンさんの言葉「あなたたちがこの国のボス(主権者)です。」忘れません。「冥福をお祈りします。」 (れ)



憲法・教育基本法 市民連続講座2009

第1回

「自衛隊海外派遣を問う」

とき 6月7日(日)
ところ 大分市コンパルホール
講師 田中 信幸さん

(自衛隊イラク派兵違憲訴訟の会・熊本)

<連絡先>090-4583-8797(池田)

大分県母親大会

記念講演

「地球の仲間たちに 豊かな未来を残すために」

とき 6月21日(日) 10:00~
ところ 大分市コンパルホール
講師 田中 優さん

参加協力券 700円

<実行委員会>097-568-8931

声に出して読んでみましよう憲法九条

『戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権否認』

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 千七〇〇一〇八五五 大分市豊後四組 みんなの家 TEL: FAX 097(545)3134